

第46回 静岡県地方港湾審議会 会議録

日 時	令和8年2月2日（月） 午後1時30分から午後2時30分
場 所	静岡県庁西館4階第一会議室A B
出席者 職・氏名	<p>【委員（順不同、敬称略）】</p> <p>富田 英治（一般財団法人国際臨海開発研究センターOCDI 調査役） 丹羽 由佳理（東京都市大学環境学部環境創生学科 准教授）※欠席 宗林 留美（静岡大学理学部地球科学科 准教授） 橋本 和之（(株)静岡新聞社・静岡放送 編集局専任局長兼論説委員長） 新谷 浩一（東海大学海洋学部海洋理工学科 教授） 脇田 和美（東海大学海洋学部海洋理工学科 教授）※欠席 浅見 佳世（常葉大学大学院環境防災研究科 教授） 久米 貴子（静岡県商工会女性部連合会 理事） 日高 努（一般社団法人日本船主協会（日本郵船(株)横浜支店長）） ※代理 日本郵船(株)横浜支店長代理 高橋 聡宏</p> <p>清水 知子（特定非営利活動法人ヒト・マチ・プロジェクト 理事長） 鈴木 泰治（清水水先区水先人会 会長） 西尾 忠久（清水港運協会 会長） 高田 充朗（静岡県漁業協同組合連合会 代表理事会長） 遠藤 将実（全日本海員組合 静岡支部長） 奈良井 功（財務省名古屋税関長） ※代理 清水税関支署長 川瀬 賢一 森本 輝（国土交通省中部地方整備局長）※代理 清水港湾事務所長 出水 孝征 中村 広樹（国土交通省中部運輸局長） ※代理 静岡運輸支局次長 大久保 吉訓 櫻谷 誠（第三管区海上保安本部清水海上保安部長） 西原 明美（静岡県議会建設委員会委員長）</p> <p>【臨時委員】 難波 喬司（静岡市長）※代理 静岡市経済局海洋政策統括監 金丸 貴之</p> <p>【事務局】 静岡県交通基盤部参事（交流・通商担当）北川 裕人、港湾局長 戸谷 洋子 他</p>
議 題	(1) 清水港港湾計画（軽易な変更） (2) 清水港貝島地区 臨港地区内における分区の指定
配布資料	(資料1) 次第 (資料2) 委員名簿 (資料3) 座席表 (資料4) 静岡県地方港湾審議会条例 (資料5) 静岡県地方港湾審議会運営要領 (資料6) 諮問の写し (資料7) 清水港港湾計画書（案） (資料8) 清水港港湾計画資料（案） (資料9) 説明資料

【開会】

○戸谷港湾局長による開会挨拶

○事務局報告

- ・委員紹介
- ・幹事会報告

○議事録署名者の指名

- ・富田会長から宗林委員、清水委員の指名があり承諾された。

○議事

(1) 清水港港湾計画（軽易な変更）

(事務局)

- ・資料9により、第1号議案を説明。

(浅見委員)

- ・貝島地区の埋立を進めている部分は淡水が染み出ており、トビハゼの生息地となっている。
- ・今後、埋立を進めるにあたり、淡水が放出できるような構造にしていただけると、トビハゼの生息場所、ひいては、干潟の再生も可能になるのではないかと思う。

(事務局)

- ・トビハゼの生息地となっていることは静岡県としても認識している。
- ・埋立工事を進めるにあたり、意見を参考にさせていただきたい。

(浅見委員)

- ・区画Aの埠頭用地について、ヒアリの発生を防ぐため、荷下ろしする場所に緑地を作らないこと、草が生えるようなコンクリートの目地部分に工夫を施すことなどの配慮をしていただきたい。

(富田委員)

- ・説明資料記載の環境影響評価部分の変更を求めるものではないか。

(浅見委員)

- ・確認されたトビハゼに配慮する旨を記載願いたい。

(事務局)

- ・承知した。トビハゼに配慮するということを加える。

(新谷委員)

- ・当該エリアは船舶交通が輻輳するエリアであるが、研究船の係留、出入港における航行の安全性への影響について、客観的・定量的な検証は既にされているのか。

(事務局)

- ・当該エリアの安全面については現計画策定時に検討済みである。実際、岸壁が完成し、船が係留する際には、改めて、関係者の意見を聞きながら確認していく。

(富田会長)

- ・先程いただいた、委員からの貴重な御質問や御意見については、議事にしっかり残しておいていただきたい。

第1号議案について、事務局案のとおり承認された。

(2) 清水港貝島地区 臨港地区内における分区の指定

(事務局)

- ・資料9により、第2号議案を説明。

第2号議案について、事務局案のとおり承認された。

○事務局報告

- ・今後の予定

○戸谷港湾局長による閉会挨拶

(以上)